

「遊びが学び」とは

子どもにとって、「遊ぶことそのものが目的」です。乳幼児期は、生活と遊びを中心として、頭も心も体も動かして、さまざまな物や人と直接関わっていく時期です。このリーフレットでは、函南の子どもたちが、園でたくさん遊びながらどんな学びをしているか紹介していきます。

＊ある春の日、2歳児のお友達が3人頭をくっつけて地面をのぞき込んでいました。何やら動いている生き物を見つけたようです。虫です。思わず、「見て！虫が歩いているよ。」と仲間に言うよ…

※中開き左上★の写真

子どもは、興味があるとそれを見つめ、さわり、つかまえ、知ろうとします。やがて、自分から調べる手段を見つけると名前を知り、種類を知り、自然に対する興味や関心がさらに広がっていきます。



そこで、保育園・こども園・幼稚園では…

〈幼児期の特徴〉

- 自分の興味・関心があるもので遊ぶ
- 一人一人の特性と発達に個人差があり、やりたいという意味が芽生える

〈保育園・こども園・幼稚園では〉

- 安心して、夢中になって遊べるように物・場所・時間などを用意して見守る
- 子どもの思いや活動を温かく受け止め、共感したり励ましたりして個の成長を促す

作成協力：丹那幼稚園（富岡園長）・自由ヶ丘幼稚園（渡邊教諭）
西部保育園（高柳保育士）・仁田マーガレット保育園（竹澤保育士）

すくすく・のびのび がんなみっ子

第1号

～遊びが学び～

乳幼児期は、その子の生涯の学びを支える大切な時期です。子どもたちが園で遊ぶさまざまな姿を見つめ、学びの芽を探していきましょう。



- ◎町立保育園
- ☆組合立保育園
- ★町立こども園
- 私立保育園
- 町立幼稚園
- ▲小規模保育園
- 函南町立小中学校

令和6年3月

函南町・函南町教育委員会

遊びが学 びって？



このお花
何ていうのかな？
ずかんについているかな？

ふーっ
タンポポの綿毛
どこまで飛んで
いくのかな？



見て！
虫が歩いているよ ★

落とさないように
そーっと
そーっと



くりとくらの
卵カークを
作るつよ



やったー！
完成！
お友達を乗せてあげよう



わかった
あと何本？

青いテープ
もっと切って

みんな
おさえてね！



うん
わかった
おさえているよ

これは何？
興味・関心

やったー！
達成感

協同性
一緒にやろう！

遊び

自信
できるぞー！

五感を通して
どんな感じ
かな？

意欲
やってみよう！



あと少し
がんばろー



〇月〇日
家族で…に
行ったよ

見てー
いっぱい回せる
ようになったよ



斜めにしないと水が
止まっちゃうよ！

つめたーい（言葉には
まだならないけれど）



1、2ー、
3---

タコさん
釣りたいの



ぶらーん
ぶらーん



べちゃべちゃ
はだして気持ちいい



ひよーんて
のひたよ



あとちよつとで
釣れるよ



こいのぼり
飛ばしたい！

ほくが
手伝ってあげる
それー